

# 「思いやり、車社会のあいことば」

西学区交通安全母の会  
会長 森田 洋子

今年も9月21日(土)から9月30日(月)までの10日間、秋の交通安全県民運動が実施されました。そして

- ◎若者による無謀運転追放
- ◎シートベルトの正しい着用の徹底
- ◎違法駐車締め出し

が重点目標になっていました。一人ひとりが正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることが、大切なことです。私が母の会のお世話をおおせつかい四年目になりますが、その間「交通事故撲滅草の根ローラー作戦」の展開。また「事故防止重点地区」等の指定を受けた昨年は、学区住民の方々、各種団体の一致協力のもと交通安全活動に積極的に取り組んでまいりました。結果、飲酒運転は依然としてワースト1位と残念ですが、交通事故加害者・被害者数とも減少の傾向が見られました。が今年に入り、6月末においては、飲酒・被害者・加害者共ワースト1位と一昨年よりも厳しい事態になっております。地域の発展に伴う交通情勢が……。とあきらめている場合ではありません。明日は我身なのです。「思いやり、車社会のあいことば」これは、新しい岡山県交通安全基本スローガンです。“思いやり”は車社会だけでなく、家庭・職場・地域全てに於いて大切なことです。交通事故は瞬間のうちに尊い命を奪い去ります。国や地方自治体を始め大勢の人々が事故防止のために努力していますが、私達家庭においても家族みんながそれぞれの立場、それぞれの場所において、話し合いをもち、交通安全に心がけたいと思います。子供の交通事故の半分を“飛び出し”が占めています。先ずお母さんが交通ルールを守り、おお子さんの手本となってください。高齢者の死亡事故の半分以上は歩行中ルール無視によるもの。お出掛け前的一声、夜間には夜行タスキの着用をすすめてあげてください。お父さん！お兄さん！絶対に飲酒運転はやめてください。交通事故の被害者にも加害者にもなる確立が高いのです。飲酒運転こそ一人一人の心がけですぐにゼロになります。家庭から、被害者も加害者も出さないよう努力しましょう。交通安全母の会では、これからも交通安全は家庭から声を大にして呼びかけていきたいと思ひます。私達皆の明るい西学区になる為、努力しましょう。

## 回顧15年(その2.....昭和57-61年)

中尾 佐之吉

前号に引き続き、昭和57年から61年までの5年間を、第2期として振り返ってみようと思う。

昭和57年と言えば今から10年以上まえ、私事になるが、当時、今幼稚園

へ行っていた外孫が小学校へあがった年である。その孫が高校生となつてまた私の家に来ている。それから類推すると、当時「こども育成会」の世話で活躍されていた若い「お父さん・お母さん」方、いまでも若若しいと思うのだが、そのこどもさんはもう青年であり、そして、親たちもレツキとした中年ということになる。さらに私は.....もう「とし」は考えないことにしよう。

ところで、この第2期の5年間を総括すれば、ハツスルする田中野田が燃えあがった時期といえるのだが、これは順を追って述べることにする。

### 第2期 町内会役員

年度	57-58	59-60	61-
会長	中尾佐之吉	中尾佐之吉	中尾佐之吉
1組	原和雄	和氣弘宗	栗本保男
2組	和氣保志	小橋郁夫	横野良典
3組	白石晴通	和氣加太志	原末隆
4組	原勝利	大森治代吉	中原広行
5組	片山新市	香山寛	西崎部
6組	原清人	吉田幸雄	和氣塚夫
7組	中尾清	太田啓一	中尾美子
8組	林栄之	片岡正清	植田孟彦
9組	.....	.....	木村強
監事	原 渥美 吉岡 清	原 渥美 吉岡 清	原 渥美 吉岡 清

注1 9組は61年度に8組から分かれてつくられた

注2 57年の世帯数は、228 であった  
61年の " 250 であった

### 町内会年次別支出額(第2期関係) 単位 円

年度	57	58	59	60	61
安全衛生	246	257	173	264	357
団体助成	180	160	182	184	175
レジャー	11	374	105	451	194
共同募金	50	60	60	65	70
備品等	0	0	125	138	78
その他	164	203	150	143	231
合計	651	1054	795	1245	1105

注 61年度では「公会堂建築基金」会計をつくり一般会計から上記支出額とは別に700千円を繰り入れた

第2期の思い出としては、58年秋に、ブランドで第1回の運動会が開催されたことであろう。専用の広場で町内だけの運動会ができるようになったことに感激した。(その後、運動会は隔年春に開催されることになった。)

翌59年8月には、第1回「夏まつり」がグラウンドで盛大に開催された。最初のことであるから、舞台はトラックのボデーに間に合わせたようなこともあ

ったが、総力を結集すればこのようなイベントもできるのかと、町内の皆さんの偉大さに驚嘆したわけである。

60年4月には、老人会のメンバーを中心にゲートボール同好会が発足した。また、この年7月には「新橋」の北、町内の境に、「交通信号機」が設けられた。そして、これが、押し寄せる都市化の波の象徴のように思われた。

よいことばかりではない。6月21日から25日までの連続降雨(雨・234ミリ)で町内の低地は浸水被害をうけた。

61年という年はどうしたことが、最も悲しい年であった。1月から11月までに、町内で10人も亡くなられた。(別に私はこの年義弟と叔父を失っている。)

12月には、田中野田区土地面整理事業について、県の事業認可があった。

## 空き缶収集ご協力に感謝します 町内会長



### 編集後記

発行5周年の記念すべき「ふれあい新聞」20号をお届けすることができ、改めて皆さまのご協力に感謝します。「機械化・電化で生活文化が進み手足を動かさなくなった人間の体力と健康がどうなるのか」という問いかけに河野先生が玉稿を寄せてくださった。また、交通安全でワースト1位と成績のまことよくないこの学区のことを心配され、「母の会」の森田さんから投稿していただいた。御礼申し上げます。なお、「夏まつり」に出演してくれた子供さんの、すなおな気持ちのこもった感想文も載すことができ満足です。(中尾)